

問題にひらく

「知識及び技能 (1)語彙」慣用句の用例を書く問題
(慣用句を調べる)

語彙を豊かにするためには、意味を理解している語句を増やすだけでなく、実際の場面で使用することができるようになることが大切です。着目したことわざや慣用句について、その意味を調べると共に、実際に使用する場面を想定しながら短文などを書くようにしましょう。その場合、主語と述語を照応させることに気をつけましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

28

1 おおみそか

2 (例)

十二月三十一日のそば屋は、猫の手も借りたいくらい忙しい。
(二十八字)

3 (例)

北見さんは、明日の文化祭でみんなと合唱できると思うと胸がおどった。

(三十三字)

* 主語と述語が照応していること。